



研究開発

培われた競争優位

- 「新製品の最速一番手上市」への挑戦により蓄積してきた科学的知見・技術・経験
- 厳格化する品質関連規制への迅速かつ着実な対応

強化するための施策

- 製品ライフサイクルを考慮した新製品の研究開発と既存製品の品質・生産性改善
- ニトロソアミン類の混入リスク評価技術の開発と専門分析施設の設置

Comment

組織の知見を結集し、高品質な医薬品を届けます

私の職場には、より高い医薬品品質を創り上げることが「なによりも患者さんのために」につながっているという共通の意識が深く根付いています。そのため、これまでに蓄積してきた科学技術、経験を組織全体の知見として結集し、目の前の課題に対して組織の枠を超えて協力し取り組んでいます。また、生成AIをはじめとするDX技術を積極的に活用し、業務の標準化と効率化を推進しています。これにより、研究活動における高い倫理観とコンプライアンスの遵守、そして科学技術力のさらなる高度化へとつなげています。このような環境のなかで、私自身もジェネリック医薬品業界のリーディングカンパニーの一翼を担う研究者として、いかなる変化も成長の機会と捉え、これからも日々新たな課題と向き合いながら、患者さんに確かな「安心」を届けられるよう真摯に挑戦し続けます。



沢井製薬株式会社
研究開発本部
物性研究部
物性IIグループ
大西 恵美子



生産

培われた競争優位

- 現場に寄り添う実効性の高いシステム(LIMS・MES等)導入による業務の高度化
- 世代を超えて引き継がれるノウハウ
- 蓄積されたノウハウを工場全体に展開する組織文化

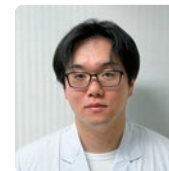
強化するための施策

- 医薬品製造の現場力や意識を新入社員にも伝える教育研修
- 現場の意識やノウハウでチーム力を高め、中期経営計画の施策を牽引する中堅社員の育成
- 成功事例を他の職場や工場にも共有する仕組みの構築

Comment

現場の声を起点に、より使いやすいシステムづくりを目指します

私の職場では、現場の声に耳を傾ける姿勢が大切に受け継がれています。中期経営計画に掲げる「信頼される企業基盤の確立」の取り組みである品質試験情報管理システム(LIMS)導入においても、実際にシステムを利用する試験者の要望を丁寧に聞くことで業務の効率化に努めています。本プロジェクトは、若手主体で取り組んでおり、当初は現場理解の経験が不足していました。そこで先輩社員に積極的に相談し、過去の経験を共有いただくことで、チーム全体で現場への理解度を深め、使いやすいシステムを目指しています。システム導入後には、安定稼働を主導し、試験業務の効率上がるように改善や教育に取り組んでいきたいと考えています。さらに、現場の声を聞くことを徹底し、その意識を次の若手にも引き継いでいくことで、三田地区の工場全体で変革への対応力を底上げしていきます。



沢井製薬株式会社
生産本部 三田工場
品質管理部
品質管理課
洲鎌 勇太



信頼性保証

培われた競争優位

- 信頼性保証本部 142 名、うち品質保証部門 58 名の専門人材体制を基礎にしたグループ内外の製造所との品質保証に係る緊密な連携体制を構築（人数は 2026 年 4 月 1 日現在）
- 業務改善の取り組みを通じた、コンプライアンス意識及びクオリティカルチャー（品質文化）の浸透
- 信頼性保証に関する経営課題について、マネジメントレビューを軸に据えた適正な報告体制の再構築と運営

強化するための施策

- 品質、有効性及び安全管理業務を適切に遂行するための専門性向上を目的とした教育体制
- マネジメントレビューによる信頼性保証体制の運用状況の定期的振り返りと体制の見直し・強化
- 総括製造販売責任者、品質保証責任者及び安全管理責任者を中心に信頼性保証体制全体の連携深化

Comment

品質を最優先に考える組織文化を次世代へつなげます

私の職場では、コンプライアンスを徹底し、業務を最後までやり遂げる組織風土が着実に醸成されています。その基礎として、教育訓練や勉強会を充実させ、コンプライアンス意識の向上と専門知識の共有・拡充を図っています。また、サワイグループ内の製剤製造所を担当者が毎月訪問し、対面による会話を重ね、強固な信頼関係を築いています。現場では、能動的な情報共有ができ、誰もが気兼ねなく意見や相談を行える環境づくりを大切にしています。さらに、実務の実態と照らし合わせて手順を見直し、標準化を進め、業務の属人化防止とインシデントの未然防止に取り組んでいます。今後は、「患者さんをはじめ、あらゆるステークホルダーに対して説明責任を果たせる品質保証」を後輩にも伝えていき、社内外の担当者と丁寧なやりとりを重ね、信頼関係の深化と協力体制の強化に貢献します。



沢井製薬株式会社
信頼性保証本部
品質保証 1 部
製品管理 2 グループ
木戸 博貴



営業・マーケティング

培われた競争優位

- 全国 9 支店からの適時適切な情報提供
- 医薬品卸・販売会社との強固な連携体制
- 豊富な医薬情報提供資材

強化するための施策

- MR（医薬情報担当者）と社内各部署のサポートとの連携体制による、正確な情報提供の推進
- 全国の医薬品卸や販売会社との連携を通じた、安定供給体制の強化
- 自社製品の適正使用につながる資材や患者さんの服薬に関する情報提供資材の充実

Comment

医療現場と社内をつなぐ架け橋として、正確な情報をお届けします

私の職場では、日々の営業活動を通じて患者さんや医療従事者のニーズを的確に把握し、迅速な情報提供に努めています。正確な情報を届けるため、医薬品に関する知識のアップデートや情報の精査を徹底することはもちろん、同僚の優れた活動からも積極的に学び、自身の活動に取り入れています。また、医療従事者と接する際は、常に相手の立場に立って話す内容やタイミングを考え、信頼される MR を目指しています。このようにして得られた医療現場の声を確実に社内へフィードバックし、製品や資材のさらなる改善へと還元しています。現場と社内の取り組みを双方向につなぐことで、沢井製薬と医療現場の架け橋となることが私の使命だと考えています。

これからも受け継いだ知識や経験を後輩へつなぎ、現状に満足することなく新たな課題へ果敢にチャレンジし続けます。



沢井製薬株式会社
営業本部
名古屋支店
営業一課
水本 葵